

大手町・丸の内・有楽町のまちづくり



2025 / Spring

# On!

Vol. —  
**54**



特集

大丸有の防災について知ろう

# 地域一体となって取り組む 災害に強いまちづくり

多くの企業や店舗が集積する大丸有エリアで、もし災害が起きたら、私たちはどう行動するべきでしょうか？大丸有まちづくり協議会・エリア防災推進委員会委員長の高瀬太郎さんと、防災の観点から都市計画やまちづくりの実践的な研究を行う東京大学の加藤孝明教授に、災害時に取るべき行動や、地域としてあるべき姿、そのための備えについてお話をうかがいました。



## コミュニティの形成が、 強い力を生む。

**高瀬** 大丸有まちづくり協議会にエリア防災推進委員会が発足したのは2020年と、比較的新しい組織です。2011年3月11日の東日本大震災では、千代田区でも震度5強の強い揺れを観測し、東京駅周辺や大丸有エリアのビルでも、帰宅困難となった多くの方がおられました。そこで、災害に強い強固なビルを建てて終わりということではなく、大丸有エリアの防災対策として、みんなで協力して何かできないか、という思いで動き出したのが始まりでした。加藤先生にはぜひ跟前からお世話になっていますね。

**加藤** 大丸有エリアでは、2004年に東京駅周辺隣

ビル間、企業間で連携し、大丸有エリア全体で災害に備えることが、街の新たな付加価値になります。



加藤孝明さん

東京大学 生産技術研究所 教授  
社会科学研究所 特任教授 博士(工学)

組を結成するなど、東日本大震災以前から防災に対して積極的に取り組んでいました。東日本大震災をきっかけに、2012年に国土交通省で都市再生安全確保計画制度が創設され、2020年までは、その計画を軸に備えを拡充してきました。まちづくりをしながらハード・ソフトの両面から防災対策に取り組む計画なのですが、どうしてもハード面の対策に偏ってしまっていたので、ソフト面でもっと踏み込んだ対策をしていくということと、エリア防災推進委員会を設立し、「地区防災計画」をつくり始めたんです。今ではハード・ソフト両面からバランス良く防災対策を進められるようになったと感じています。

## ハード・ソフト両面から 防災を強化していく。

**高瀬** ハード面では、建物の建て替えに合わせて防災機能をより強化し、災害に強い街にすることが重要です。2020年以降、委員会のメンバーでもある丸の内熱供給(株)や、東京熱供給(株)の地域冷暖房システムの導入が進んでいて、日々、災害時でもエネルギーを安定して供給するための取り組みが進められています。また、帰宅困難者の方が一時的に滞在できるスペースがまだ足りないのも、これから建設予定のビルに、受け入れスペースを確保するとともに、今あるビルの中でもスペースを融通しながらどう確保していくかについて、議論を重ねています。

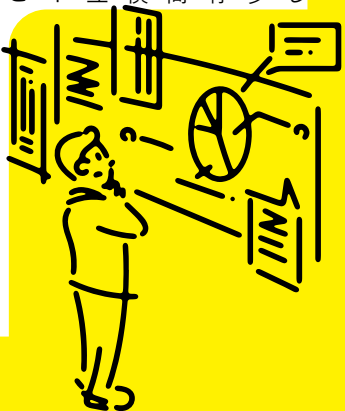
**加藤** 災害対策の組織は、一番上に本部長がいて、枝分かれした先に指示が出されるツリー型が多く、決めら

れたことの最低限しかできないことが多いのですが、大丸有エリアのような商業・業務地区は、横のつながりで成り立っているネットワーク型になっていて、これまでになかった新しい仕組みで災害を乗り越えようとしています。誰が何をやるか決まっていなくても、その時できる人が集まって最善を尽くすことができれば、「ベスト・エフォート」を引き出せる可能性を秘めていると思います。

**高瀬** ソフト面では、街にいるみなさんが、災害が起きた時に落ち着いて行動できるように、日頃から話し合っただけで準備しておくことが重要です。35万人と言われる大丸有エリアの就業者の多くは、災害が起きて初めて防災が自分ごとになると思います。そこで、普段から防災を身近に感じていただくために何ができるかを協議会で話し合っています。

## 大丸有エリアの 防災ポテンシャルは高い。

**加藤** 他の商業業務地区に比べると、大丸有エリアは災害対応能力が高いと言えます。高い耐震性能を備えた新しいビルが多いだけでなく、幅員の広い道路空間もありました。また、大企業が多いことも、防災の観点で見ると対応力が高いと言えます。観光客や買い物客





高瀬太郎さん

まずは防災について知ることから。少しでも知っているだけで、災害が起きたときの対処は大きく変わります。

のシミュレーションをすると、人がパニックになって一斉に動き出した場合、人が多く狭い道が多いエリアでは危険な場所ができてしまします。人が移動することで危険が起りやすくなるので、火災などの大きな被害がない限り、そこからむやみに動かないことが原則です。

**高瀬** 揺れがおさまったら少しずつ情報が出てくると思います。大丸有地区の災害に関する情報は、「千代田区災害ダッシュボード」で確認することができます。また、ビル内のモニターでもNHK総合テレビの緊急放送が流れるようになるの

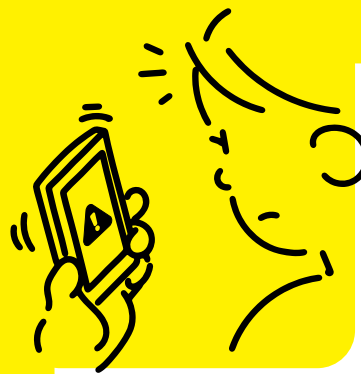


で、まずは情報を収集し、落ち着いて行動していただきたいです。

**加藤** 災害が起きたときに「被災者意識」を持たず、主体的に支援できる人が一人でも多い状況をつくることも重要です。もし首都直下地震のような大地震が起こったとしても、大丸有エリアには災害に強いビルが多く、ライフラインも確保されているので、帰宅が困難でも2〜3日は問題なく過ごせると思います。災害時には、怪我をしている人や介護が必要な人といった「災害弱者」と呼ばれる人たちが優先されるべきで、電車が動かなくて家に帰れない人は、被災者ではありません。私たちが目指しているのは、怪我がなく、ひとまず安全が確保された人たちにボランティアとして協力してもらい、「混乱した状況をみんなで乗り越える」という意識を持った主体者の一人になつてもらうことです。被災者意識を持たずに動ける人が多ければ多いほど、大災害が起きても難なく乗り越えられると思います。

**高瀬** 協議会で策定している「地区防災計画」には、災害が起きた時の心構えや、街としてのあるべき姿が描かれているので、大丸有エリアで働いている方だけでなく、遊びに来る方にも読んでいただきたいですね。とはいえ、知らない方はまだ多いと思うので、周知を進めるとともに、安心して災害を乗り越えるための環境づくりも継続して進めていきます。

地区防災計画の詳細情報は、こちらのQRコードをご参照ください



**加藤** スマート技術は

など、来訪者の多いエリアでは、災害時になかなか統制が取りにくく、パニックが起きやすいのですが、企業に勤めている人は、企業ごとの防災計画やBCP計画（事業継続計画）に沿って行動することができ、最低限の統制がとれると考えられます。

**高瀬** 協議会があるということも、防災上、良いことだと思っています。通常、ビル同士、企業同士がつながるきっかけはなかなかないのですが、協議会があることで、地域としての防災対策を進めることができます。

**加藤** 企業同士でも、それぞれが災害にどう備えているのか情報交換も行なっていますよね。協議会を通じて、大丸有地区のコミュニティづくりが進んでいると思っています。

### スマートシティ構想から見えてきた、防災の未来。

**高瀬** 「大丸有まちづくり協議会」のスマートシティ推進委員会との連携も進んでいます。大丸有エリアの情報提供している「Oh My Map」には「スムーズ地下・防災ver.」があり、災害時に役立つ情報が蓄積されつつあります。アプリもあって便利なので、大丸有エリアにいらっしゃる方は、スマートフォンに入れておく心安心だと思っています。

私たちの生活をより良くするためのツールの一つではありませんが、新しいインフラとも考えられます。そう遠くない未来には、様々なことがリアルタイムで観測できるようになるでしょう。先日韓国で視察した先駆的なスマートシティでは、AIカメラが至るところに設置されていて、街で起きていることをリアルタイムで検知することができていました。市役所の情報センターで監視しているのですが、例えば街中で誰かが倒れたら、カメラが検知して即座に知らせてくれて、すぐに救急車を呼ぶことができるという仕組みです。日本ではまだそこまでできていませんが、今後スマートシティ化が進めば、安全性も格段に上がると思います。

**高瀬** スマート技術をいかに活用するか、今後も協議会で積極的に議論していきたいですね。課題は多いですが、歩みを止めないことが大事だと感じています。スマートシティ化とともに、大丸有から新しい取り組みをどんどん発信していきたいですね。

### もし大丸有地区にいる時に大地震が起こったら？

**加藤** 高層ビルは一般的に耐震性が高いので、ビルの中にいる場合は慌てて飛び出さず、まずはその場で自分の身の安全を守ることを優先する。屋外にいる場合は、落下物に備えて、カバンなどで頭を守ってください。揺れがおさまったら落ち着いて周りを見渡して、安全だと思える場所にいるなら、なるべくそこから動かないようにしましょう、と言われます。群衆

## もし大丸有エリアで首都直下地震が起きたら



<揺れている時>

・まずはその場から動かず、身の安全を確保する。

<揺れがおさまったら>

・火災などの大きな被害が出ていたら、より安全な場所へ移動する。  
・周囲の安全が確認できたら、情報を収集する。

01

Oh MY Map!

02

千代田区災害ダッシュボード

03

千代田区ハザードマップ

詳細はP7へ!



# Otemachi Oneの地下にある 大規模なプラントに潜入!

大丸有エリアに19あるプラントの中から、大手町センターとOtemachi Oneサブプラントの2カ所を見学させていただきました。普段目にするのではない地下空間には、こんな巨大な地域冷暖房施設があるんです。今回は、特に防災にフォーカスしてご紹介します。

防災面を  
チェック!



## FOCUS 01

地下3階には  
非常用発電機も

重油燃料とガス燃料に対応したデュアルフェューエル型非常用発電機を備え、事故や災害などで万が一電力が停止しても、一定の電気を確保することができます。



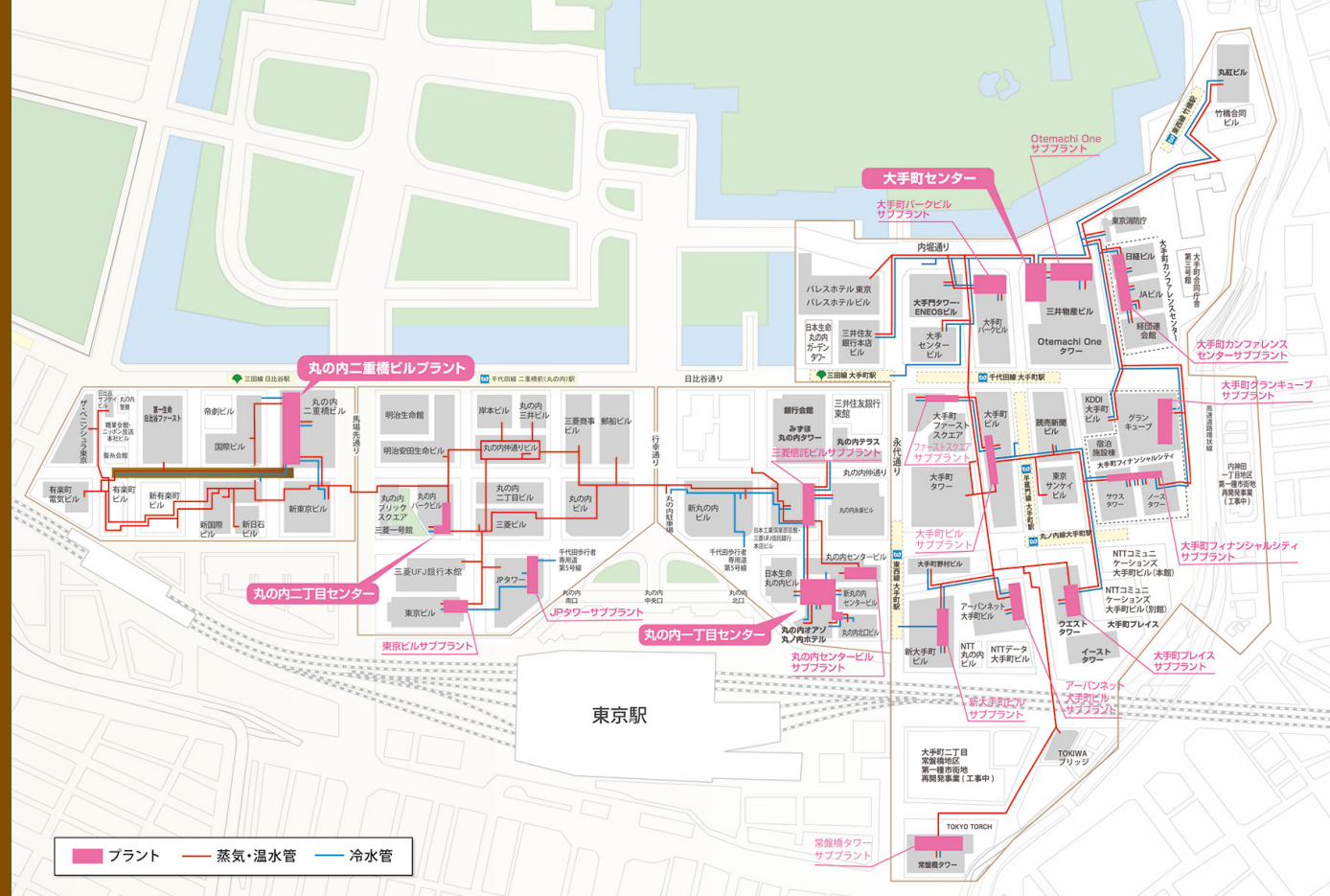
まずは大手町センター地下3階にある  
監視室を見学

大丸有エリアのインフラとして、休むことなく稼働し続ける「地域冷暖房」は、専門の技術員が24時間体制で運転を管理しています。モニターで各プラントに異常がないか監視するだけでなく、定期的に各プラントをまわって巡回点検も行い、災害が起きても早期に対応・復旧できる体制が整っています。

ここが  
ポイント!



動力制御盤などの電気設備は床面が高くなっていて、プラント内に万が一水が入り込んでも稼働し続けられるように浸水対策を行っています。



プラント 蒸気・温水管 冷水管



地下5階のボイラー室へ

巨大なボイラーが立ち並ぶ大迫力の光景。ここでは、ガスの燃焼熱で水を加熱し、約175℃の蒸気を製造しています。



## FOCUS 02

小さな窓から、ボイラーの内側で燃えている炎が見えます。ボイラー室全体も少々暑くなっています。

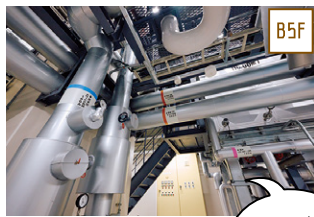
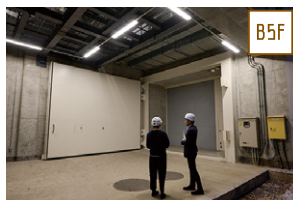


「AR」と書いてあるのは、ボイラーで製造した蒸気を用いる吸収式冷凍機。電気とガスをバランスよく使うことで、より効率的に冷水を製造することができます。



Otemachi Oneサブプラントには、冷凍機室  
冷房に使用する冷水を製造する冷凍機室。「TR」と書いてある機械は固定速ですが、その他に冷房需要の変化に応じて出力を変えることでエネルギー効率を高めるインバーターボ冷凍機があります。

開口部があると大雨の時など水の侵入が気になりますが、大きな防水扉があるので安心です。



ここでつくられた蒸気や冷水が導管を通じてエリア内のビルに届けられ、冷暖房を行います。

導管が  
びっしり!

地下5階に  
直結!

## FOCUS 03

大きな機械を搬入するのに  
使われるマシンハッチ

Otemachi Oneサブプラントを抜けると、地上につながる開口部に出ました。地下深くに大きな機械を搬入するために、マシンハッチが設けられています。

## 大丸有エリアの安全を支える エネルギーネットワーク



大丸有エリアの進化とともに発展し続け、  
地域の安全を支えるエネルギーネットワークの仕組みをご紹介します。

大丸有エリア一帯にエネルギーネットワークを広げ、冷暖房用の熱だけでなく、温水や電気なども効率的に製造・供給します。



丸の内熱供給株式会社  
開発技術部 兼 開発営業部

森村 平さん

大丸有エリアでは、地域一帯の冷房・暖房・給湯などをまとめて製造・供給する「地域冷暖房」の実装が進んでいます。供給が始まったのは、なんと50年近くも前、当時、皇居の松が枯れるなど大気汚染が深刻な状況で、環境保全を担う地域冷暖房会社として丸の内熱供給株式会社が設立され、1976年に旧大手町センターのプラントから供給が開始されました。ビルで個別に冷暖房を行うよりもエネルギー効率ははるかによく、公害防止や都市美観の向上、建物内スペースの有効利用といった都市環境を守るメリットが多いことから、現在では19のプラントから57棟10施設7駅の建物に供給が行われています。

「地域冷暖房」は、大丸有エリアの防災においても重要な役割を担っています。地域一帯のプラントを配管で繋ぎ、ネットワーク化することで、プラント間相互のバックアップができるようになり、安定性がさらに向上。2018年に竣工した丸の内二重橋ビルプラントには、ガスを燃料として熱と電気を同時に製造する「コージェネレーションシステム」が導入され、非常時には同ビルの非常用発電機と一体になって、周辺ビルの帰宅困難者受入スペースにも電気を供給できるようになるなど、災害に強いまちづくりに大きく貢献しています。

いざ災害が起きたら、まずは落ち着いて情報収集しましょう。  
地域の情報がまとまっているアプリやウェブサイトをあらかじめ登録しておくで安心です。  
大丸有には、日常生活でも使えるツールや、普段目にするもので災害時にも役立つものが揃っています。

## 02 千代田区災害ダッシュボード



2024年1月に千代田区と三菱地所が連携協定を締結し、同年2月に社会実装され災害時に起動\*するシステムです。  
大丸有の災害時の情報HUBとして大丸有・都市再生安全確保計画に位置づけられており、現在その先行機能が実装され、今年度も新機能に向けた実証実験を公民連携して続けております。

\*千代田区・震度5強以上の場合、千代田区の判断により起動。



### ■デジタルマップ版

大丸有周辺の4鉄道・25駅・22路線の改札口付近にQRコードを掲出済みであり、避難者のスマホに、災害拠点病院等や帰宅困難者受入施設などを表示する日英対応のWEBサイトです。



### ■デジタルサイネージ版

NHK総合テレビと、公式「X」からの鉄道・自治体・インフラ情報に加え、帰宅困難者受入施設の位置情報を含めた映像と音声(NHK)の放送をデジタルサイネージ版として、千代田区・災害対策本部と連携して丸の内ビジョンに配信します。(写真は丸ビル1階マルキューブへの配信)

災害が起きたらどうする?!  
大丸有の情報はここからチェック!

## 01 Oh MY Map!

ここからダウンロード!



大丸有エリアの情報をマップで確認できるサービスで、「移動回遊 ver.」と「スムーズ地下・防災 ver.」があります。「移動回遊 ver.」は、エリアの地図と一緒にその時開催しているイベント情報やモビリティ情報を確認でき、大丸有で働く人だけでなく、遊びに来る人にも便利です。「スムーズ地下・防災 ver.」は、通常の地図では見ることができないエリアの地下空間の情報を網羅的に掲載し、段差や傾斜位置などのバリアフリーに関する情報もあり、スムーズなまち歩きをサポートします。エリアの防災情報や災害情報も地図と一緒に確認できるなど、いざという時に役立つ機能が充実しています。



**POINT 01**  
エリアに広がる地下空間を攻略  
エリアに張り巡らされた地下空間の情報を網羅的に掲載。迷子になりやすい地下の移動経路がより簡単にわかる!



**POINT 02**  
エレベーターなし  
スムーズなまち歩きをサポート  
段差・傾斜位置等のバリアフリーに関する情報やトイレの位置など役立つ情報が盛りだくさん。誰でもエリアをスムーズに移動・回遊できる!



**POINT 03**  
防災・災害情報  
緊急時に必要な情報にアクセスできる  
エリアの防災情報や災害情報を一体的に確認できる!事前の防災情報の確認にも役立つ!

## 03 千代田区ハザードマップ



洪水・高潮・土砂災害など、複数の災害に応じたハザードマップを掲載。危険な場所や避難場所、避難経路などの情報を確認することができます。

### 東京駅周辺防災隣組とは?



千代田区の地域防災計画・震災対策編に位置付けられている任意団体で、2004年より活動をしています。直近約4年は、大丸有エリアにおける負傷者搬送訓練を実施し、大丸有企業の会員や外部参加者も含めた災害時・負傷者搬送訓練に加え、会員相互の研究会・交流会など平時の活動も続けています。



丸ビルの地下1階(写真)では、発災直後から丸の内ビジョンにNHK総合テレビを再放送し、そこに多くの避難者が滞留しました。東京駅周辺防災隣組は、丸ビル内の千代田区防災備蓄倉庫から、毛布を配布しました。

東日本大震災が発生した日、大丸有エリアでこのような状況だったので、実際に行われた対応の一部をご紹介します。

2011年3月11日  
その時大丸有では...

# 大丸有で おいしい時間

## お祝いにぴったり! スペシャルなコースメニュー

大手町、丸の内、有楽町でしか味わえない、とっておきグルメをご紹介します。  
今回は、卒業や入学、入社といった節目のお祝いにおすすめの、  
特別感のあるコースメニューをご紹介します。

### ウルフギャング・ステーキハウス 丸の内店

極上のT-BONEステーキを  
堪能できる  
スペシャルコース

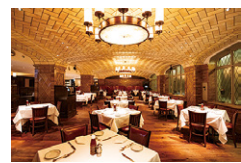


看板メニューの「プライム熟成T-BONEステーキ」を中心に、人気メニューが揃うコース。ステーキの焼き加減はレアがおすすめです。コースメニュー 1名様 ¥16,500(税込・サービス料別) ※2名様より

丸の内MY PLAZA内、明治生命館の地下1階に、ウルフギャング・ステーキハウス 丸の内店があります。重要文化財の指定を受けた歴史的建造物で、柱やステンドグラスなど、繊細な意匠が店内にも散りばめられています。看板メニューは、フィレとサーロインを一度に味わえる「プライム熟成T-BONEステーキ」。アメリカ産牛肉の中でも希少なプライムグレードの牛肉を使用し、専用熟成庫で28日間、ゆっくりとドライエイジングすることで、肉質が柔らかくなり、旨みをぎゅっと凝縮しています。「900℃のオープンで皿ごと焼き上げ、外はカリッと、中は柔らかくジューシーなのが特徴です」と話すのは、副店長の高田正法さん。大迫力のボリュームながらさっぱり食べられて、幅広い年代から支持されているそう。人気メニューが集まったコースメニューは、取り分けスタイルでカジュアルに楽しめます。デザートプレートにはメッセージが入れられ、花火付きで華やかにお祝いできます。



- ① 分厚くカットされたベーコンが添えられたクラシックなシーザーサラダ
- ② サイドディッシュのマッシュポテトとクリームスピナッチは、コクがありステーキと相性抜群
- ③ デザートプレートの内容も日替わり。メッセージ・花火付きでお祝いムードが高まります



広々としたダイニングホール。重要文化財ならではの重厚感のある装飾が、特別な時間を演出します

POINT 01

歴史ある建物の意匠が  
店内からも楽しめる、  
丸の内店だけの特別な空間

POINT 02

プライベート感あふれる個室で  
ゆっくり食事を堪能できる

POINT 03

ジュージュー音を立てながら  
提供される焼き立て  
T-BONEステーキはインパクト抜群

ウルフギャング・ステーキハウス副店長  
**高田正法さん**

ニューヨーク発祥のステーキハウスならではのクラシックな空間は、お祝いの席にぴったりです。ワインの品揃えも豊富で、お好みに合うものをご提案します。



### THE UPPER

クラシックな  
フランスリメメニューが  
味わえる  
大皿シェアコース

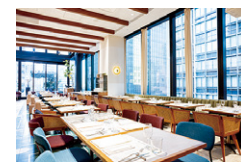


香ばしい炭火焼きステーキを中心に、前菜からデザートまでバランス良く食べられます。パン・カンパニー付き大皿シェアコース 1名様 ¥9,800~(税・サービス料込) メッセージプレート ¥1,500(税込) ※4~8名様

2020年11月に開業した丸の内テラスの最上階(9階・10階)にあるのが、THE UPPERです。太陽光が降り注ぐ10階は、広々としたテラス席へとシームレスにつながる開放的な雰囲気、ダークカラーを基調とした落ち着いた雰囲気の9階には個室もあり、様々なシーンで利用できます。フランスの大衆的なブラッスリーをイメージしたカジュアルな料理を楽しむことができ、季節に応じたコースメニューが豊富に揃います。「肩肘はらず、お料理を囲んでわいわい楽しんでほしい」とマネージャーの石川創一さん。おすすめは、大人数で楽しむのにぴったりな大皿シェアコース。メインディッシュの炭火焼きステーキは、表面がカリッと香ばしく、牛肉の旨みをしっかりと感じられます。その他、マッシュルームサラダやスモークサーモンなど前菜も充実。追加でオーダーできるメッセージプレートは、まるで花束のような華やかさがあがり、門出のお祝いにぴったりです。



- ① 薄くスライスしたマッシュルームが、まるで花びらのように華やかなサラダ
- ② ワインとの相性抜群なスモークサーモンは人気メニューの1つ
- ③ 特製のガラスプレートに盛り付けられたメッセージプレート ¥1,500(税込)



2年連続でミシュランガイド東京「セレクトドレストラン」に選出されました

POINT 01

東京のど真ん中にありながら、  
開放的な雰囲気を味わえる  
スペシャルな空間

POINT 02

季節や利用シーンに応じた  
コースメニューが豊富

POINT 03

特製のメッセージプレートは  
目にも鮮やかで、  
写真映えもばっちり

株式会社トランジットホールディングス  
事業推進部 PR戦略 コミュニケーションプランナー  
**雲類 鷲なつみさん**

人気のテラス席はこれからの季節とても気持ち良いです。大切なご友人やお仕事仲間、ご家族など、様々なシーンでご利用ください。



## EVENT INFORMATION

大丸有で開催されたイベントの様子をお届けします。



大丸有の知られざる魅力を発見できる施設見学ツアー

## OPEN CITY MARUNOUCHI 2024

大丸有協議会30周年を記念して2018年に始まったOPEN CITY MARUNOUCHI (通称OCM)。普段入れない場所や、見られていない・知られていない場所を巡る人気イベントです。今回は、「東京駅の工事と歴史を巡るツアー」や、「100年の歴史と未来がクロスする鉄道高架下ツアー」といったユニークなまち歩きツアーを、テーマ別に24プログラム実施しました。3日間を通してお天気に恵まれ、参加者は約400名と大盛況のうちに終了しました。来年度の開催日は決定次第、OCMホームページで公開します！

【開催日時】2024年10月31日(木)・11月1日(金)・11月2日(土)

【開催場所】大手町・丸の内・有楽町エリアの施設および空間等

【主催】OPEN CITY MARUNOUCHI2024実行委員会

(構成団体:一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会、DMO TOKYO Marunouchi、三菱地所株式会社)



イベント詳細はこちら

## 大丸有の未来のまちづくりについて議論するシンポジウム FACE 2024 対面すれば、生まれる未来。

毎年まちづくりの課題からテーマを選び、まちづくりの実践者や多彩な有識者を招いて開催する大丸有まちづくり協議会主催のシンポジウム。2024年度は「ウォークابل」なまちづくりをテーマに、トークセッションが行われました。オンラインでの二部構成で、第一部は「地方都市及び海外都市における「ウォークابل」の取組」、第二部は「大丸有における「ウォークابل」なまちづくりに向けた今後の展望」をテーマに、総勢12名のゲストスピーカーをお招きしました。

【開催日時】2024年12月5日(木)13:30~16:35

【開催場所】3×3 Lab Future(オンライン配信)

【主催】一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

イベント詳細はこちら



## 伝統的な江戸の情緒を現代にアップデートする景観創出プロジェクト 江戸にひかり大丸有

「江戸にひかり大丸有」では、かつては大名藩邸のまじだった大丸有エリアにおいて、現代のオフィス街では見えにくくなった江戸時代からの歴史に再び「ひかり」を当て、伝統的な江戸の情緒をアップデートしたイベントが開催されました。1月には行幸通り地上で約250本の和傘を掲出するイベント「満天の江戸光景」が実施されるなど、取組全体を通じて大丸有エリアの歴史・文化の発信が行われました。今後も継続して大名家紋・和柄フラッグの掲出や行幸地下ギャラリーの展示、大手町伸通りでの和傘イルミネーションが予定されています。

【開催日時】:2025年1月9日(木)~3月7日(金)※各イベントにより実施日時は異なります

【開催場所】:丸の内伸通り、行幸通り地上、行幸地下ギャラリー、大手町エリア等

【主催】:大丸有江戸情緒創出推進協議会

(構成団体:特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、三菱地所株式会社)



イベント詳細はこちら

## ADVERTISEMENT

当協議会では、On!55号(掲出予定期間:2025年9月~2026年3月)に掲載する広告を募集いたします。以下の詳細資料をご参照の上、指定の期日にまでに下記メールアドレスまでお申し込みください。

申込/お問合せ先:contact@tokyo-omy-council.jp



お申し込みはこちらから!

## about On!

『On!』のタイトルは「Old but New」の頭文字に由来するものです。新旧の魅力がともにあり、常に前進し続ける大丸有エリアのまちづくり情報やおすすめスポットをご紹介します。



一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-1-1

TEL03-3287-6181 FAX03-3211-4367

https://www.tokyo-omy-council.jp/



On!バックナンバーはこちら



大丸有まちづくり協議会のInstagram



情報誌 On! 読者アンケート